

[GXビジネス](#) > [企業](#) > [【FROM INSIDE】やまよし（別府市）](#) [企業](#)

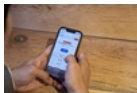
【FROM INSIDE】やまよし（別府市）

「スマート入札」導入で市場活性化

企業 2024/08/02 03:00



やまよしの河内由揮さん（左）とバナナラボの渡部カディール裕就代表



県内産を中心に乾シイタケを扱う「別府椎茸（しいたけ）入札市場」は、2023年にDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した「スマート入札」を導入した。リモートで参加でき、入札額の集計や入力の手業務なども大幅に改善できた。高齢の入札参加者にも配慮したシステムを設け、市場の活性化につなげている。

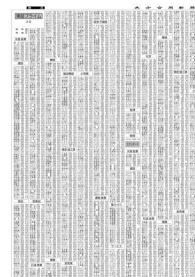
同市場を運営する「やまよし」（別府市・河内聖蔵社長）は、コロナ禍をきっかけに、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用による入札システムを導入した。

■集計作業が相当量、新たな課題浮かぶ

それまでは、入札の際には、市場まで足を運び、入札額を専用紙に手書きで記入し提出する必要があった。コロナ禍によって移動が制限され、県外の商社が入札に参加できない状況が続いた。河内社長（70）は、リモートで入札に参加できるシステム制作を検討。やまよしのウェブサイトを担当したシステム会社「バナナラボ」（別府市・渡部カディール裕就代表）に相談した。

バナナラボの渡部代表（30）と河内社長の長男で、「やまよし」で働く由揮さん（39）が入札の現場でリサーチすると、新たな課題が浮かび上がった。繁忙期には市場内に数百種類の商品（乾シイタケ）が並び、30社ほどの商社が入札に参加する現場。手書きで記入した入札額を読み合わせ、パソコンに入力するという一連の集計業務が相当量に達することが分かった。

由揮さんは「3人がかりでも数時間が必要な作業量。加えて読み間違いなどのミスも多かった」と作業の効率化を検討した。その結果、商社がリモートで入札に参加できる仕組みに加え、膨大な集計作業を効率的に処理できるシステムを企画。約半年で、バナナラボ製の「スマート入札」が完成した。



最新商況紙面ビューア

今日の天気

中部

南部

曇り時々晴れ



時間	0-6	6-12
降水	-	10%

警報 発表なし

注意報 発表なし

気象状況

PM2.5情報 大分県の測定データ

速報

大分県内

フェンシング男子フルーレ団体
2024/08/05(月) 07:44フェンシング男子フルーレ団体
2024/08/04(日) 22:55

アクセスランキング

GXビジネス

大分県内

【FROM INSIDE】
「スマート入札」導入で市場活性化
トレンド

■作業者が3人から1人、時間も30分に

商社が利用する際は、スマートフォンなどから、商社番号とパスワードを入力してログインする。入札する商品を選び、入札額を入力して送信する。締め切り時間内であれば、入札額を修正できる。画面には入札対象商品の生産地や重量、使用している菌種などが一覧で表示される。画像は、拡大表示もできる。

「スマート入札」導入により市場側の集計作業も大幅に簡素化できた。作業担当者が3人から1人に減った。作業時間が数時間から、トータルで30分ほどに短縮できた。由揮さんは「その1人も、集計作業中に机にかじりつく必要がなくなった。実際の作業はシステムに任せ、その間は、他の忙しいところを手伝えるようにもなった」と、予想以上の効果を感じている。

■直感的なインターフェースにこだわる

システム制作については、高い年齢層が多い商社担当者の使いやすさにも配慮。渡部代表は「簡単に操作できるよう、特に直感的なインターフェースにこだわった」と力を注いだ点を強調する。当初は、デジタル化に対する反発もあった。そのため、システム導入直後にはタブレットを貸し出して実際に利用してもらった。利便性を実感してもらえると、反発も徐々に薄れ、多くの商社がスマート入札に参加するようになった。

さらに、入札結果は各自のスマートフォンから確認できる。その結果、「結果が出るまで市場で待つ必要がなくなった」と商社側から利便性を評価する意見も出てくるようになった。スマート入札の導入効果について由揮さんは「市場と商社、双方がウィンウィンとなる方策」と実感する。

現状の社内にも、手書きしている商品番号管理など、デジタルに置き換えられそうな業務があるという。由揮さんは「1966年に市場開設して以来、アナログな入札販売をしてきた。それが当たり前と思っていたが、外部の指摘で始めたDXが会社の成長につながっている。今後も会社の課題解決を目指したい」と力を込めている。

Company info

- ・会社名 株式会社やまよし
- ・代表者名 河内聖蔵代表取締役
- ・所在地 別府市西野口町
- ・業種 市場運営、小売業
- ・売上高 8000万円（2023年度）

こちらの記事もおすすめ



2

GXビジネス
デジタル版

【我達人〜ノ
0° コミュニ
渡辺善敬
トレンド

3

経済トレンド

【経済トレ
格、5年で3
トレンド

4

起業者が
ふるさと納税
一つのアプ
企画特集

5

暮らしのト
リセツ

【暮らしのト
融機関の変
トレンド

大分合同新聞 主要

【パリ五輪】
サーブル団体
エース江村、
県内 県内スポー

明豊、甲子園
の小松大谷
試合
県内 高校野球

56歳の覆面
でも全力で
ク、引退試合
県内 社会

別府市、鶴見
ボイドエリア
泉発電の乱開
県内 別府

都市対抗野球
の戸田投手
周囲の支えと
県内 竹田

【全国高校総
体で明豊が引
退
県内 高校スポー

大分舞鶴高
ツランが黄
産、開花は夢
県内 大分

日本女子、3
スポーツ 国際大

日本男子5
スポーツ 国際大

PR TIMES S

"初代創業か
4代目店主が
ン。時代の多
方で売上を
挑戦の裏側"

水産業界の
化を目指して
「東京サス
ド・サミッ」
の変化を振り
け新たな挑